



MUFG通信

2016年度通期(2016年4月1日～2017年3月31日)

三菱UFJフィナンシャル・グループ

URL : <http://www.mufg.jp/>
証券コード : 8306



社長メッセージ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

私から、2016年度の業績および今後の取り組みについてご説明します。

▶ 2016年度の業績について

2016年度は、低金利環境の長期化により資金利益が減少したほか、前半はリテールの運用商品販売が低調に推移、後半は米国を中心とする金利上昇を受けて市場関連収益が減少した結果、業務粗利益は前年度比1,313億円減少の4兆118億円となりました。営業費は、規制関連コストは増加したものの、円高効果もあり、前年度比ほぼ横這いとなりました。この結果、実質業務純益は、前年度比1,396億円減少の1兆4,182億円となりました。

与信関係費用総額は前年度比997億円減少の1,553億円、株式等関係損益は前年度比366億円増加の1,249億円となりました。以上により、経常利益は前年度比1,787億円減少の1兆3,607億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、249億円減少の9,264億円となりました。減益とはなりましたが、当初目標の8,500億円を上回ることができました。

経営の健全性を表す自己資本比率については、2017年3月末の普通株式等Tier1比率が11.76%と、現在の金融規制に照らして十分な水準を維持しています。また海外資産を含めた不良債権比率（貸出金に占めるリスク管理債権の比率）は1.41%と、引き続き低い水準を維持しています。

2016年度の株主還元は、1株当たり配当は18円とし、併せて、6半期連続となる1,000億円の自己株式取得を行います。また、今回新たに「自己株式消却の方針」を定めました。保有する自己株式の上限を、発行済株式総数の5%程度を目安とし、それを超える部分は、原則として消却します。3月末の自己株式保有比率が約5%であることから、今回新たに取得する自己株式は、上記方針に従い全量消却する予定です。



▶ 「MUFG再創造イニシアティブ」について

MUFGは、国内の低金利やデジタル化の進展など、国内外の構造変化やMUFGを取り巻く経営環境の変化を迅速に捉え、グローバルに勝ち残っていく強靱な金融グループをめざして、「MUFG再創造イニシアティブ」を発表しました。

MUFG再創造イニシアティブ

シンプル・スピーディー・トランスペアレントなグループ体型の経営を通じ、お客さま・社員・株主その他のステイクホルダーに最善の価値を提供。課題解決型のビジネスを展開することで、持続的な成長と、よりよい社会の実現への貢献をめざす。

4つの柱

1. グループベースでの顧客・事業軸運営の強化
2. デジタルを活用した事業変革
3. 生産性向上に向けたイニシアティブ
4. グループの経営体制の再構築

詳細につきましては次頁以降をご参照下さい。

私たちが取り組むのは、「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」をめざした変革、そうした金融グループを次世代に継承していくための「未来志向型の構造改革」です。明日も輝き続けるMUFGをめざして力を結集してまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年6月
取締役 代表執行役社長 グループCEO 平野信行

MUFG再創造イニシアティブの具体例

デジタルを活用した事業変革

デジタル化を踏まえたチャネル拡充、次世代店舗への転換により、お客さまが「いつでも」「どこでも」金融サービスにアクセスできるチャネルを構築

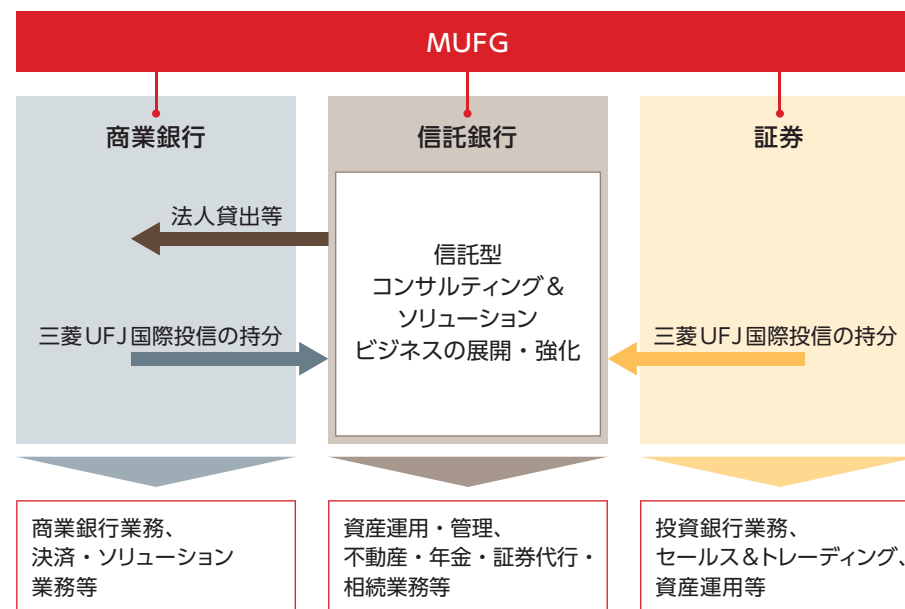


* Internet of Thingsの略

グループの経営体制の再構築 (2018年4月を予定)

▶ グループの機能別再編

商業銀行・信託銀行・証券の使命と機能分担を明確化



▶ 商業銀行の商号変更

変更前

(和文) 三菱東京UFJ銀行
(英文) The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.

変更後

(和文) 三菱UFJ銀行
(英文) MUFG Bank, Ltd.

資本政策

▶ 資本政策の基本方針

MUFGは、「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」の実現に向け持続的に成長するため、充実した自己資本を維持しつつ、「株主還元の一層の充実」、「収益力強化に向けた資本活用」をめざしています。

■ 健全性の維持

自己資本比率などで表される財務の健全性は金融・経済の礎として安定した経営が求められる金融機関にとってとても重要です。MUFGは、バーゼルⅢで求められる所要水準を充足していますが、引き続き財務基盤の強化・維持に努めます。

■ 成長に向けた投資

持続的な成長を実現するため、成長が期待できる事業や地域に対して、効率性を十分に検証した上で資本を投入していきます。

■ 配当・自己株式の取得

MUFGは、利益成長を通じて、安定的・持続的に配当を増加させていくことを株主還元の基本方針としています。

また資本効率の向上に向けた自己株式の取得については、バーゼルⅢの規制水準を上回る十分な財務基盤があることを前提に、今後の成長に必要な資本の量を踏まえた上で、継続的に検討しています。



▶ 配当・自己株式取得の実績と予想

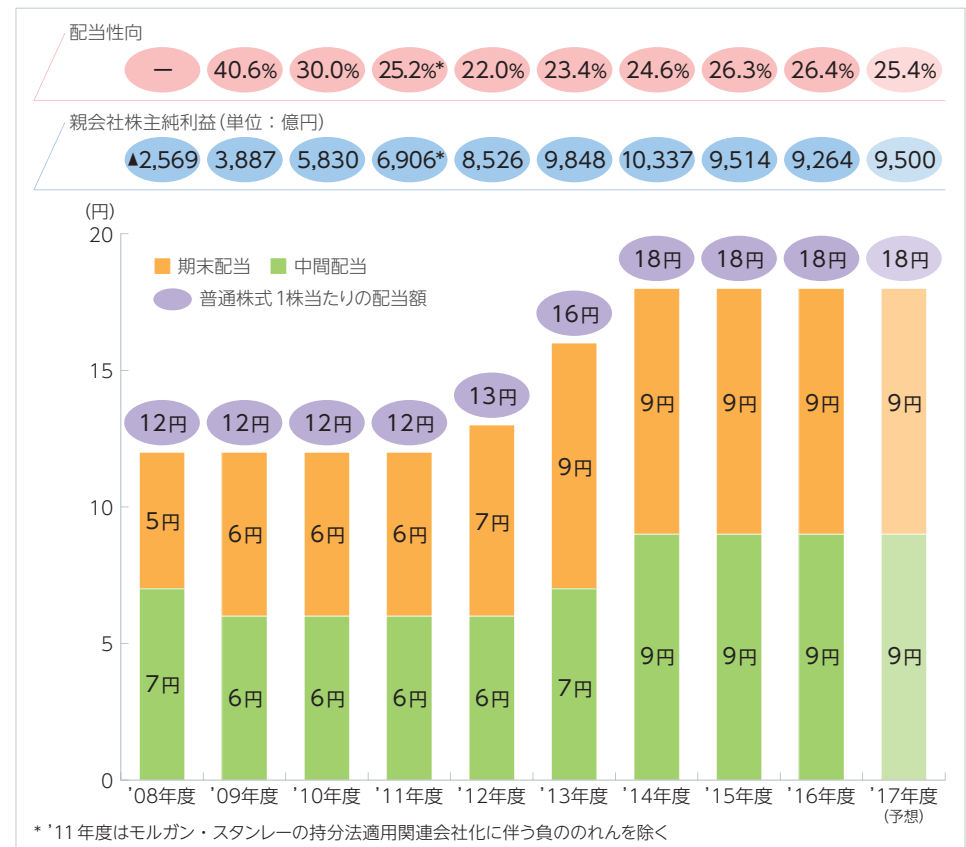
■ 2016年度の実績

2016年度の1株当たりの年間配当額は18円と据え置きました。2016年11月に続き、2017年5月にも1,000億円の自己株式取得を決定しました。

なお、今回新たに、保有する自己株式の上限を発行済株式総数の5%程度とする方針を定めました。本方針に則り、今回取得する自己株式はすべて消却します。

■ 2017年度の予想

2017年度の1株当たりの年間配当額は2016年度と同額の18円を予想しています。



MUFGグループ各社では、地域・社会の一員として、社会全体の重要課題の解決に貢献したいと考え、行動しています。今回は、本業を通じたさまざまな社会貢献活動への取り組みの一部をご紹介します。

グリーンエネルギーファイナンスで世界ランキング1位を達成

MUFGは太陽光・水力・風力・地熱発電などのグリーンエネルギー事業に関連したプロジェクトファイナンスのアレンジや融資を通じて、世界の再生可能エネルギーの普及に取り組んでいます。

このたびMUFGは、2016年のグリーンエネルギー事業に関連したプロジェクトファイナンスのリーグテーブルにおいて、民間のグローバル金融部門で世界ランキング1位となりました。



2016年再生可能エネルギー部門におけるプロジェクトファイナンス・リーグテーブル

順位	企業	金額(百万米ドル)	シェア(%)
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2,911.0	6.64
2	三井住友フィナンシャルグループ	2,215.7	5.06
3	欧州投資銀行 (European Investment Bank)	2,050.1	4.68
4	サンタンデール銀行	1,935.7	4.42
5	みずほフィナンシャルグループ	1,607.0	3.67

出典：Bloomberg New Energy Finance

金融経済教育「株の力」 文部科学省審査委員会奨励賞受賞

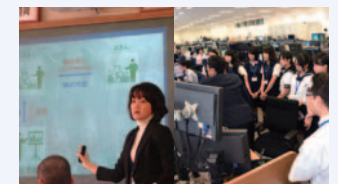
三菱UFJモルガン・スタンレー証券が社会貢献活動として行っている金融経済教育「株の力」が、文部科学省主催の2016年度「青少年の体験活動推進企業表彰」で「審査委員会奨励賞」を受賞しました。

「株の力」は、中学生・高校生向け教育プログラムで、次世代の金融リテラシーを高めることを目的に2014年より取り組んでいるものです。これまでの受講者は延べ30校、2,000人を超えます。

参加者は株式や証券市場・証券会社の機能・役割を学んだ後、新聞広告の形で発表します。アクティブラーニングをベースにしたプログラム内容に加え、代表チームによる本社プレゼンテーションへの経営陣の参加、トレーディングルームでの発注体験等、会社全体で推進している点も評価され、証券会社では初受賞となりました。



授賞式の様子



授業風景やトレーディングフロアでの見学体験の様子

解約制限付信託「みらいのまもり」取扱い開始等の取り組みが環境省21世紀金融行動原則 第5回グッドプラクティスに選定

三菱UFJ信託銀行が販売する解約制限付信託「みらいのまもり」をはじめ、認知症サポーター養成講座、サービス介助セミナーの開催といった高齢化に伴う社会的課題に応える活動が、持続可能な社会の形成に向けた先進的な取り組みの好事例として環境省の21世紀金融行動原則*第5回グッドプラクティスに選定されました。

「みらいのまもり」の最大の特長は、「ご自身でさえ簡単には解約できないこと」です。やむを得ず解約する場合は、契約者本人だけでは解約できず、解約理由などを受益者代理人（親族）と三菱UFJ信託銀行自身が確認するという従来にない取り組みで、一段上の安心をご提供している商品です。

三菱UFJ信託銀行は、高齢化に伴う認知症を含めた判断力低下への不安に対して大切な資産を守る商品の開発やお客さま対応の向上に積極的に取り組み、本業を通じて持続可能な社会の形成に貢献します。

* 持続可能な社会の形成を目指す金融機関の行動指針として2011年に策定されたもの



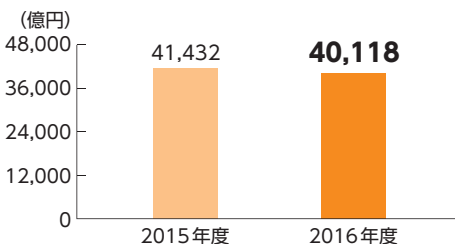
2016年6月より取扱いを開始

2016年度決算ハイライト

✓ 決算のポイント

- 親会社株主に帰属する当期純利益は、通期目標の8,500億円を上回る9,264億円
- 貸出金は前年度末比4.7兆円の減少、預金は9.7兆円の増加
- 普通株式等Tier1比率は11.76%と十分な水準を維持

連結業務粗利益



前年度比1,313億円減少しました。海外の預貸金・手数料収益は堅調に推移しましたが、金利低下を受けた国内預貸金収益の減少や運用商品販売の低迷、債券関係損益の減少に為替影響も加わり、減少しました。

与信関係費用総額*

貸倒引当金繰入額の減少を主因に、前年度比997億円減少しました。

* 与信関係費用(信託勘定)＋一般貸倒引当金繰入額＋与信関係費用(臨時損益)＋貸倒引当金戻入益＋偶発損失引当金戻入益(与信関連)＋償却債権取立益

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)
営業費(△)
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)
● 与信関係費用総額(△は費用)
経常利益
親会社株主に帰属する当期純利益

■ 資産・負債の状況(連結)

資産の部合計
貸出金(銀行勘定)
有価証券
うち国債
負債の部合計
預金
純資産の部合計

■ 自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率
Tier1比率
総自己資本比率

(単位：億円)

2015年度	2016年度
41,432	40,118
25,852	25,935
15,579	14,182
△2,551	△1,553
15,394	13,607
9,514	9,264

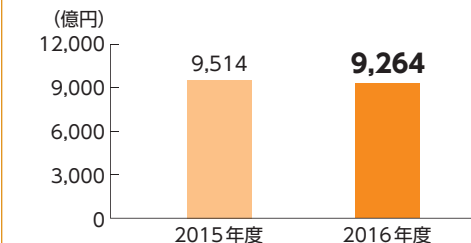
(単位：億円)

2015年度末	2016年度末
2,983,028	3,032,974
1,137,563	1,090,052
699,938	594,388
283,571	251,115
2,809,161	2,866,390
1,609,650	1,707,302
173,867	166,583

営業費

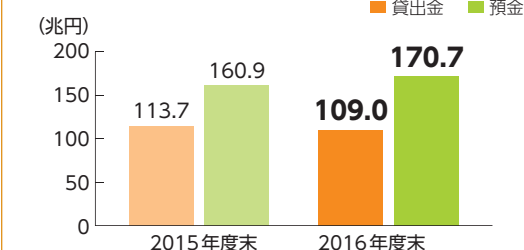
為替影響もあり、ほぼ横這いとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益



前年度比249億円減少し、9,264億円となりました。

貸出金・預金



貸出金残高は、国内法人貸出および海外貸出は増加するも、政府等向け貸出の減少を主因に、前年度末比4.7兆円減少しました。預金残高は法人等預金の増加を主因に、前年度末比9.7兆円増加しました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は11.76%と、十分な水準を維持しています。

* 普通株式等Tier1比率＝中核的な自己資本(資本金・剰余金)÷リスク・アセット

(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

MUFGからのお知らせ

MUFGでは、下記のとおり株主さま向けのセミナーを開催いたします。
各セミナーごとにお申込み方法、条件が異なりますので、ご注意ください。

① 経済セミナー・為替相場セミナー開催概要

募集対象者：2017年3月末時点で当社株式を1,000株以上お持ちの株主さま（ご同伴は1名さままで可）
参加費：無料

① 経済セミナー（東京・大阪・名古屋）

開催日 募集人数	【東京】東京都千代田区	2017年9月22日(金)	各回380名
	【大阪】大阪府大阪市中央区	2017年10月6日(金)	各回200名
	【名古屋】愛知県名古屋市中区	2017年10月16日(月)	各回150名
時間	[午前の部] 10:30～12:00頃 [午後の部] 14:00～15:30頃		
開催場所	各地域のグループ会社または外部の会議室		
内容	テーマ：「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究理事 五十嵐 敬喜 氏		



五十嵐 敬喜 氏

② 為替相場セミナー&ディーリングルーム見学会（東京）

開催日 募集人数	2017年10月24日(火) 80名	時間	13:30～16:00頃
開催場所	三菱東京UFJ銀行内会議室およびディーリングルーム（東京都千代田区）		
内容	第一部 ▶ テーマ：「円相場の現状と見通し」(仮題) 講師：株式会社三菱東京UFJ銀行グローバルマーケットリサーチ チーフアナリスト 内田 稔 氏 第二部 ▶ ディーリングルーム見学会 （ディーラーが取引を行う現場をご覧ください）		

応募方法：同封の「MUFG株主セミナー参加申込書」に必要な事項をご記入のうえ、ご投函ください。

締め切り 2017年7月24日(月) 消印有効

◎ご注意◎

- ご希望のセミナーおよび開催日時を選択してください（いずれか一つをお選びください）。
複数選択、または選択がない場合には無効となります。
- 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただきます。
- 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には無効となる可能性があります。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

応募者多数の場合は、抽選のうえ、当選された株主さまに2017年9月上旬にご招待状をお送りいたします。

② 動画配信

経済セミナーの様子を当社ホームページにて公開します。詳細は以下をご覧ください。

▶ リンク先情報

当社ホームページ内『動画配信』(<http://www.mufig.jp/investors/movie/>)

▶ ユーザー名

mufig

▶ パスワード

201710

▶ 配信期間

東京会場終了後、1ヵ月間

③ WEB限定インターネットライブセミナー開催概要

募集対象者：2017年3月末時点で当社株式をお持ちの株主さま

参加費：無料

開催日 2017年8月22日(火)

時間 19:00～20:15

内容

テーマ：「初めての資産運用」(仮題)

講師：FPアソシエイツ&コンサルティング株式会社

代表取締役 ファイナンシャルプランナー 神戸 孝 氏

三菱銀行（現三菱東京UFJ銀行）、日興証券を経て、1999年FPアソシエイツ&コンサルティングを設立。FP歴は約30年、資産運用に強いFPの第一人者として評価が高い。日本FP協会理事、金融庁金融経済教育懇談会委員などを歴任。著書は「幸せな老後を呼びこむ ほんとうに真つたな資産運用」等、多数。



神戸 孝 氏

応募方法：1. 下記URLにアクセスいただき、お名前・株主番号・ご住所・Eメールアドレスをご入力
のうえ、お申込みください。

2. 開催日の約4週間前までに、ご入力いただいたEメールアドレスに視聴方法等をお送り
いたします。

・申込専用URL：<http://www.mufig.jp/webseminar/index.html>

・締め切り：2017年7月14日(金)

◎ご注意：やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG株主倶楽部
専用デスク

0120-321-629
(通話料無料)

代表電話

03-3240-8111
(通話料有料)

受付時間：土・日・祝祭日を除く9:00～17:00

会社情報／株式情報

取締役・執行役 (2017年6月29日現在)

取締役 川上 博	取締役 岡本 純一	代表執行役 会長 園 潔	執行役専務 吉川 英一
取締役* 川本 裕子	取締役 園 潔	代表執行役 副会長 長岡 孝	執行役専務 浅井 滋
取締役* 松山 遙	取締役 長岡 孝	代表執行役 副会長 池谷 幹男	執行役専務 濱本 晃
取締役* トビー・S・マイヤソン	取締役 池谷 幹男	代表執行役 副会長 三毛 兼承	執行役専務 安田 正道
取締役* 奥田 務	取締役 三毛 兼承	代表執行役 社長 平野 信行	執行役専務 村上 敦士
取締役* 佐藤 行弘	取締役 平野 信行	執行役専務 黒田 忠司	執行役専務 吉藤 茂
取締役* タリサ・ワタナグス	取締役 黒田 忠司	執行役専務 荒木 三郎	執行役専務 亀澤 宏規
取締役* 山手 章	取締役 徳成 旨亮	執行役専務 徳成 旨亮	執行役専務 横川 直
取締役 島本 武彦	取締役 安田 正道		

* 取締役のうち、川上 博、川本 裕子、松山 遙、トビー・S・マイヤソン、奥田 務、佐藤 行弘、タリサ・ワタナグス、山手 章の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日／中間配当金 9月30日
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL：http://www.mufig.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先・ 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9：00～17：00)

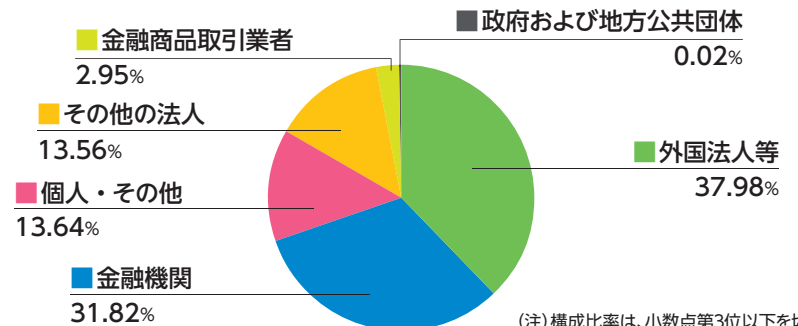
■ 株式に関するお手続き

住所・氏名など届出事項の 変更、配当金振込先の指定、 買取請求その他各種お手続き	・証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま 原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社 等)で承ることとなっておりますので、お取引の証券会社 等にお問い合わせください。 ・特別口座に当社株式が記録されている株主さま 上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

株式の状況 (普通株式) (2017年3月31日現在)

■ 株式の状況	発行済株式の総数	14,168,853,820 株
	株主数	749,688 名

■ 所有者別分布状況



■ 大株主

	所有株式数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	738,930,600	5.48
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	599,404,400	4.45
3 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	274,765,600	2.04
4 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	258,022,002	1.91
5 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	217,524,300	1.61
6 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	203,847,400	1.51
7 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	201,436,400	1.49
8 STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	193,632,252	1.43
9 日本生命保険相互会社	182,072,553	1.35
10 THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DR HOLDERS (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	181,145,443	1.34

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 普通株式の持株比率は、自己株式 706,561,997 株を除いて算出しております。

■ 中長期的にめざす姿

世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ —Be the world's most trusted financial group—

1. お客様の期待を超えるクオリティを、グループ全員の力で

お客様視点を常に大切にし、グローバルに変化する多様なニーズを逸早くとらえ、グループ全員の力で応えていく。社員一人ひとり・一社一社が専門性を極め、グループ一体となって連携・協働し、世界水準のトップクオリティを追求する。

2. お客様・社会を支え続ける、揺るぎない存在に

変化の激しい時代においても、お客様の資産を守り、日本社会と世界経済の健全な成長を支える。一人ひとりが築く信頼と、グループ全員で作る強固な経営基盤で、最も信頼される頑健な存在であり続ける。

3. 世界に選ばれる、アジアを代表する金融グループへ

これまで培ってきた強みを活かし、日本はもとより、アジア、そして世界においても選ばれる存在となる。多様化・ボーダレス化する社会で、変化へ積極的に対応し、一人ひとりが成長・活躍できる組織として進化を続ける。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、この度、株主優待制度の廃止を決定いたしました。
詳細につきましては別紙「優待制度廃止に関するお知らせ」をご参照ください。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL: <http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター

電話:0120-232-711(通話料無料)

(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00～17:00)